



No.406 令和7年1月6日

# おおたこうれん

発行所  
東京都大田区南蒲田1-20-20  
電話(3737)0797・FAX(3737)0799  
一般社団法人 大田工業連合会  
発行人 会長 広瀬 安宏  
E-mail: office@ootakoren.com  
ホームページ: https://ootakoren.com  
印刷所  
東京都大田区大森西4-6-13  
電話(3766)1711  
株式会社 気生堂印刷所



一般社団法人  
大田工業連合会  
会長 広瀬 安宏

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新年を迎えることとお慶び申し上げます。

昨年の景気は、緩やかに回復しつつあるとしながらも、海外景気等の下振れによるリスクを抱えながら推移してまいりました。

国際情勢を見れば、3年近くになるウクライナ戦争や中東の緊迫した状況も終わりが見えず、世界経済を巡り、引き続き大きな不安定

要素にもなっています。アメリカでは、トランプ元大統領の再選により、中国とだけでなく、国際的な枠組みでの関税引き上げなど、保護主義的な貿易政策が進むものと見られます。

そして、日本経済は、長年にわたるデフレや高齢化、少子化などの問題に直面しつつ、温暖化も、かつてない酷暑の夏を2年連続で経験するなど、その対策はもはや待ったなしとも言われています。

日本の産業界を見ると、その経済を動かす原動力である人材が圧倒的に不足し、原材料費の高騰も続いています。

このような、取り巻く環境が複雑かつ厳しい状況の中で、大田区の中小製造業が今後、どのように取り組んでいくのか問われています。

そのために、大田工業連合会は、大田区からの受託事業を活用して、昨年も様々な取り組みを行ってきました。

会員団体による先進工場視察で、他地域のものづくり企業の経営や技術、人材育成、人材確保などの取組みを学び、さらには地方企業との取引促進にも力を入れてきました。

また、同じく団体主催の各種講習会も開催いたしました。AIなどの先端技術や世界情勢をはじめ、税制や雇用といった様々な課題を会員皆で研究、勉強してまいりました。

さらに、将来のものづくり人材として、子ども達のものづくりへの興味や関心を高めています。会員企業の工場見学会の実施や、加工機を使った工作やロボットの製作・プログラミングなど、もの

づくりに関わるさまざまな体験の機会を提供したり、中学生のインターンシップ受入れなども実施しています。

## 明けましておめでとうございます

一般社団法人 大田工業連合会会員団体



蒲田工業協会

会長 松浦 貴之  
大田区南蒲田一〇二〇  
☎〇三(三七三)二八四一五

(一社)大森工場協会

会長 柳沢 重幸  
大田区中央二一一一〇  
☎〇三(三七七)四七四四

工和会協同組合

理事長 広瀬 安宏  
大田区下丸子一六四  
☎〇三(三七五)一三三四

都南工業給食協同組合

理事長 乙部 克巳  
大田区南六郷三一五一  
☎〇三(三七三)七四五一

蒲田工業協同組合

理事長 望月 直人  
大田区蒲田一二九一八  
☎〇三(三七三)七八二一

(一社)仲池上商工業振興会

代表理事 峯 滋  
大田区仲池上一一三一二  
(株)自強輸送機内  
☎〇三(三七五)五一八九

東京南シフトメタル工業会

会長 新井 紀彦  
大田区東糀谷五一四一七  
(株)武甲製作所内  
☎〇三(三七四)〇〇〇九

東京都京浜島工業団地協同組合連合会

代表理事 佐々木 一博  
大田区京浜島二一〇二  
☎〇三(三七九)〇〇二一

城南島連合会

会長 中澤 勇一郎  
大田区中央二一一一〇  
☎〇三(六四一)二二三二





大田区長 鈴木 晶雅

新年明けましておめでとうございます。

一般社団法人大田工業

連合会の皆様におかれましては、令和7年のよき新春を迎えられましたことと、謹んでお慶び申し上げます。

また旧年中は区の施策に多大なるご協力をいただき、御礼申し上げます。

さて昨年は、中東地域をめぐる世界情勢、金融資本市場の変動の影響など、先行き不透明な中で

区内事業者を取り巻く環境は大変厳しく、ご苦労されていることと思います。

またあわせて生産年齢人口が徐々に減少する中、人材確保や人材育成など、引き続き、企業を支える「人」に対する課題も顕著になっていると拝察いたします。

区といたしましては、こうした地域産業に対する諸課題に対し、大田工業連合会の皆様と連携し

ながら、産業政策に引き続き注力をしてまいります。

区は、検討を進めてきた新たな大田区基本構想について昨年3月に公表させていただきました。

この基本構想は、区民の皆様からいただいた1万7千件を超えるご意見や、基本構想審議会における議論の結果を踏まえ、将来像として「心やすらぎ 未来へはばたく笑顔のまち 大田区」を掲げております。

新たな将来像には、大田区が地域課題に真正面から向き合い、先行きの見えない不確実な時代であつても、誰もが笑顔で暮らすことができるまちをめざしていきたいとい

う思いを込めており、区長として全身全霊をかけて、この新たな基本構想の実現に向けて取り組んでまいります。また、この基本構想の内容を皆様に分かりやすくお伝えするために、冊子を作成いたしました。

区では現在、構想を実現するための基本計画を策定しているところです。中長期的な視点を持った計画とする一方、将来の予測が困難な時代、いわゆるVUCA（ブーカ）の時代にあつても新たな課題などに柔軟で的確に対応するため、しなやかさを併せ持った計画とすることが求められます。また、計画を着実に推進していく

ためには、区が有する限られた経営資源を最適化し、最大限に活用した、持続可能な自治体経営を実践することも欠かせません。「大田区に住んでいて良かった」、「これからも大田区に住み続けたい」と思っていただけのような、時流を捉えた質の高いサービスを提供すること、それを着実に実行するための体制を常に確保していくことが重要であります。今後、これらを両立させる、実効性の高い計画を全庁が一丸となって策定してまいります。

次にSDGsの推進に関する取組について、昨年9月から、SDGsの達成に向けて取り組む事

業者を区が認定し、「見える化」する制度である「SDGsおたスカイパートナー認定制度」の募集を開始いたしました。この制度は、大田区に本社、支社、営業所などを有する法人、個人事業主、団体を対象としており、認定した事業者には、認定証を交付し、区ホームページにて事業者名や取組内容などのPRを行います。今年1月1日からの認定開始ですが、事業者の更なるSDGsへの取組の推進を促すとともに、公民一体となつて持続可能な地域社会の実現をめざしてまいります。

さて、区と民間事業者との「公民連携」で進め

る羽田イノベーションシティでは、昨年11月、グランドオープン1周年を記念したイベントが3日間にわたり開催されました。自動運転バスや多様なロボットなど最先端のテクノロジーを体験できる企画や、各地域の産品が集まるマルシェ、街区の特徴を活かし、新たな学びの場を提供するワークショップなど、羽田イノベーションシティの魅力を存分に感じ、体験できるイベントが開催されました。特に、区施設活用スペースHANCEDA×PiOでは、「PiO PARK X 2024」と題したイベントを区主催にて実施し、区内企業などの

ご協力による体験型ワークショップや展示を通じて、来場者に「未来を見せる」コンテンツを提供させていただきました。このような羽田イノベーションシティでの取組をはじめ、人材確保・育成など、現下の厳しい社会状況に求められる施策も着実に取り組んでいくことにより、区民生活・区内経済を守り、誰もが暮らしやすい、持続可能で豊かな地域社会を構築してまいります。

末筆となりますが大田工業連合会の皆様には、これからも大田区の産業界をけん引し続けていただきますようご祈念を申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。



公益財団法人大田区産業振興協会  
理事長 川野 正博

新年明けましておめでとうございます。

大田工業連合会の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。

また旧年中は、公益財

団法人 大田区産業振興協会の諸事業に様々なご支援をいただきましたことに改めて御礼申し上げます。

さて、世界経済は短期的な改善が見られるも

の、ウクライナ、中東、そして米国の動向など、地政学的な緊張やブロック経済化、金利・物価の上昇、そして気候変動や災害リスクなどの下振れ要因が成長の足枷となる懸念があります。

一方、日本経済に目を向けましても、数年来続く世界的な原材料や部品の不足、円安・金利・賃金の上昇圧力など、今もなお難しい局面にありま

す。こうした状況下におきましても、大田工業連合会会員企業の皆様には、弛まぬ経営努力と取引拡大に日々注力されておられますことに敬意を表すとともに、大田区産業振興協会も事業者の皆様のご期待に添うべく、矢張り早のサービス展開に職員一丸となつて取り組んでおります。

新製品・新技術開発支援事業は、令和6年度も42件の応募に対し24件の事業を採択しました。中でも、6年度から大幅に見直しを行ったトライアル助成は、前年度の約2倍のペースでお申し込みをいただくなど、企業の

皆様のチャレンジ精神が非常に旺盛であると実感しております。30回を迎えた大田区優工場は、12社に認定を行うとともに、認定特典として「おしごとナビ大田区」の無料掲載を贈呈いたしました。今後も大田区優工場が増えることで、人材確保が円滑に進み、環境と調和したもののづくりに取り組んでいただきたいと考えおります。産業見本市では、令和6年2月9日に「MEET NEW SOLUTION in Ohta」を産業プラザで開催。長く愛されてきた「おた工業フェア」の精神を受け継ぎ、次代を担うスタートアップや

日本各地の企業・自治体と大田区産業が繋がり社会課題解決を目指しました。海外取引支援においては、中国・米国の動向が不透明な中、ドイツ及び台湾との関係強化を図っております。区内企業の皆様にこれらの地域の見本市出展を通じて、商談のみならず国際ビジネス情勢を肌で感じていただいたのは、大きな収穫であったと考えます。開設から3年を迎えた「PiO PARK」は、国内・外からのお客様がさらに増えております。好評の「超専門技術ミニ展示会」は、板橋区や大阪府の企業とのコラボ開

催にも発展し、地域を越えて産業者同士が交流・協力するきっかけとなりました。今年は、次の展開として羽田を飛び出した出張ミニ展示会の実施を模索しております。OTAデジタルPiOは、4月に大規模なリニューアルを施しました。「LINE」を用い、ものづくりに留まらず商いやグルメといった多彩な情報提供と読者プレゼントなどの創意工夫が功を奏し、従前の約6倍のスピードで登録者が増えており、皆様にも早めのご登録をご案内いたします。さて、2025年は、乙巳（きのとみ）にあたります。乙（きのと）は

十干の2番目「木」の要素を持ち、樹木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。一方、巳（み）は神様の使いとして、また脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされており、まさに2025年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟な発展を目指す年」になります。

私ども協会も乙巳（きのとみ）の運氣にあやかつて事業・人員を拡充し、産業者を全力でサポートしてまいります。大田工業連合会の皆様におかれましても、引き続き当協会の支援メニューを大いに活用いただき

たく存じます。結びに、貴連合会の益々のご発展と会員企業各位のご繁栄、そして経営者・従業者のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。







東京商工会議所大田支部  
会長 深尾 定男

新年明けましておめで  
とうございます。

一般社団法人大田工業  
連合会の皆様方におかれ

ましては、令和7年の新  
春を清々しい気持ちでお  
迎えることとお慶び申し  
上げます。

はじめに昨年は、台風  
や地震などの頻発する大  
規模自然災害に見舞われ  
た被災者・事業者の皆様  
に、心からお見舞い申し



大田区産業経済部  
部長 梅崎 修二

新年あけましておめで  
とうございます。

一般社団法人大田工業  
連合会の皆さまにおかれ  
ましては、新しい年を健や  
かにお迎えのことと、謹ん  
でお慶び申し上げます。ま

た、平素より本区の産業政  
策につきまして格別のご  
理解とご協力を賜り、誠に  
ありがとうございます。

昨年は、政治に大きな  
動きがあり、SNSの影響  
による投票行動の変化な  
ど、話題が尽きない1年と  
なりました。また、経済に

上げます。能登半島で被  
災された皆様を含め、一  
日も早い復旧・復興を祈  
念申し上げます。

さて、わが国経済が持  
続的に成長するには、企  
業数の99・7%、雇用の  
約7割、3大都市圏を除  
くと約9割を占める「中

小企業の稼ぐ力の強化」  
が不可欠です。中小企  
業にも賃上げの動きが広  
がっていますが、依然と

して約6割が防衛的な賃  
上げを強いられており、  
持続的な賃上げには原資  
の安定的な確保が不可欠  
です。

区内中小企業では、円  
安や物価上昇によるコス  
ト増や人手不足などに直  
面する中、原資の確保の  
ために価格転嫁の浸透に

加え、生産性向上やイノ  
ベーションにより、物価  
上昇率や借入金利を上回  
る付加価値を実現するこ

とが求められています。  
このような状況のもと  
東京商工会議所大田支部  
では、「稼ぐ力の向上」に

おきましては、エネルギー  
価格や原材料費の高騰、円  
安の影響、不安定な国際情  
勢など、地域で事業を営む  
皆様には、依然として難し  
い経営の舵取りを強いら  
れていることと推察致し  
ます。

そのような中ではあり  
ますが、昨年は、区内企業  
の皆様「ものづくり産業  
等実態調査」にご協力を頂  
きましたこと、この場をお  
借りして御礼を申し上げます。  
おかげ様で70%を超  
える回収率を得ましたの

サポートを行っておりま  
す。

具体的には、ビジネス  
チャンスの拡大に向けた  
機会創出を目的とした交

流会をはじめ、中小企業  
のデジタル化等による生  
産性向上、事業再構築、  
事業承継・引継ぎ、創業

に向けたチャレンジなど  
を支援しております。ま  
た、マル経融資（小規模  
事業者経営改善資金）に

よる資金繰り支援、経営  
相談等をはじめ、各種補  
助金（小規模事業者持続  
化補助金・事業再構築補  
助金）の申請支援等を実

で、この調査結果を最大限  
に活用し、変化の激しい状  
況を的確に捉えて、よりよ  
い政策立案につながるよう  
努めてまいります。令和7  
年3月には、調査報告書を  
公表する予定ですので、皆  
様におかれましては、ぜひ  
ご活用頂けると幸いです。  
令和7年を迎え、区と  
致しまして気持ちも新  
たに、区内ものづくり産業  
の維持・発展のために皆様  
と一緒に取り組んでまい  
ります。

え、インキュベーションマ  
ネー ज्याによる手厚い伴  
走支援等により、将来有望  
な企業が育ってきており  
ます。入居企業と区内企業  
との協業やメディアへの  
掲載など、うれしい話題も  
増えてきました。

また、大田区産業振興協  
会では、新たな領域へチャ  
レンジする方を支援する  
プロジェクトとして、羽田  
イノベーションシティの  
立地を活かした「HANE  
DA共創プラットフォーム」を立ち上げております。

ベンチャーフレンドリー  
塾などの取組を通じて、区  
内企業のスキルアップや  
新たな共創の場づくりを  
支援しております。交流会  
なども積極的に行ってお  
りますので、区内企業の皆  
様には、ぜひご参加いた  
だきたいと存じます。

「巳年」は「脱皮」や「再  
生」を象徴する年とされて

る「道德経済合一」の考  
えを生涯、追求しました。

企業経営者が成長の原動  
力として企業が繁栄し、  
より良い地域社会づくり  
の貢献につなげていく、

「社会的責任」の大きさを  
説いたものと受け止めて  
います。地域の中小企業  
が「社会的責任」を果た  
して元氣になれば、大田  
区をはじめわが国の経済  
もより一層、元氣になる  
と確信しております。

結びに、貴会のますま  
すのご発展ならびに皆様  
方のご健勝を祈念申し上  
げ、新年のごあいさつと  
させていただきます。

本年もどうぞよろしく  
お願い申し上げます。

さらに、労働力人口が  
減少する中で、企業におい  
てもっとも深刻な課題と  
もいえる人材育成・人材確  
保につかましても、より一  
層力を入れております。特  
に、次世代を担う20・30代  
の若手人材の獲得に注力  
しており、現状では、大田  
区産業振興協会による求  
人サイト「おしごとナビ  
大田区」の運営や採用マッ  
チング支援などを行って  
おります。また、大田区シ  
ティプロモーションサイ  
トにおいて連載中のイン  
タビュー記事「ものづくり  
ROOKIE」などにより  
り、ものづくりの魅力や楽  
しさを伝え、「ものづくり  
のまち」を応援していく機  
運の醸成に努めておりま  
す。

## 国の融資制度「マル経融資」をご存知ですか？

マル経融資は、商工会議所の推薦にもとづく、日本政策金融公庫の**無担保・保証人不要（信用保証協会の保証も不要）の融資制度**です。

【**限度額**】**2,000万円** 【**利率**】**1.65%**  
(2024年12月1日現在)

【**融資対象**】従業員20人以下  
(宿泊業、娯楽業を除く商業・サービス業5人以下)の法人・個人

【**使 途**】事業資金(運転・設備資金)  
【**返済期間**】運転7年以内・設備10年以内

◆審査の結果、ご希望に添えない場合があります。予めご了承ください。

経営上でお悩みの時

《予約制・無料》

窓口専門相談をご利用ください

・法律相談・税務相談・労務相談・金融相談

※本相談は、経営に関する相談に限定しております。

※大田区より当初3年間、支払い利息の40%が補助されます。



東京商工会議所 大田支部

☎ 3734-1621 大田区南蒲田 1-20-20 (大田区産業プラザ5階)

※会員非会員を問わずご利用いただけます。

※この融資限度額及び返済期間の取扱いは2025年3月31日

日本政策金融公庫受付分までとなります。



2024

ロボットプログラミング教室

開催



リモコンにエジソンの操作を割り当てる原田講師

大田工業連合会と大田区産業経済部産業振興課は11月17日、大田区産業プラザP i O 6階C会議室で「ロボットプログラミング教室」を開いた。開始にあたり、当会の吉崎彰事務局長は「プログラミング

はロボットや宇宙産業などに不可欠な技術です。ここ大田区でも関係するベンチャー企業が生まれているので、本日学んだ皆さんにもものづくりの町である大田区で活躍してほしい」と挨拶。教室は午

前と午後に行われ、午前・午後とも区内の小学3年生から中学1年生までいずれも14名が参加した。

教材として使ったのは、オーストラリアのマイクロブリック社が発売する小型の教育用プログラミングマブルロボット「エジソン」。講師は（株）ビートランスの原田洋一代表取締役がつとめた。

授業は分かりやすくも核心を突いた内容だった。エジソンは2つの赤外線LEDによって光を前方に当て、その跳ね返りを赤外線センサーで検知している。と解説した後、反射を利用し前方が黒か白かを判定し、白なら右、黒なら左に回るよう設定することで黒い線を進んでいることを説明。子どもたちは

エジソンを動かしながら、驚きと納得の表情を浮かべて聞き入った。講義を終えると、S字型のコースを走らせる障害物競走に取り組んだ。直進する時間（距離）、旋回するタイミングが合わないとい完走できない。子供たちは積極的に挑み、多くの子が障害物コースをクリアした。

初めて参加した小学3年生の吉田理乃さんは、どこに課題があるのか、コースを見てひとつずつ確かめて取り組んだ。「難しかったけれど、他の子に教わりながらできて楽しかった。お家でもやってみよう」と目を輝かせていた。レゴブロック型のリユックで参加した、同じく小学3年生の平澤壮一郎さんは、S字の最後のコーナーをあ



真剣な眼差しでS字コースの課題に取り組む

えて逆に旋回させ、壁に当たったらバックで進むようプログラムを工夫した。「プログラミングをして実際にロボットを動かしたのは初めて」だという。エジソンにレゴブロックを取り付けることができると知り、「自分の好みにデコレーションしたい」と笑顔を浮かべた。



大田区商店街連合会  
会長 北見公秀

大田区の産業の発展に多大なる貢献をされていらっしゃる大田工業連合会の皆様におかれましては、輝かしい新年の幕開けをお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、世界的にウクライナ・ロシア戦争が長期化し、中東情勢

も不安定な状況が続きました。異常気象による自然災害も頻発し、世界経済に大きな影響を与えています。日本においても、昨年元旦の能登半島地震や全国各地で相次いだ大雨をはじめとする自然災害に加え、賃金上昇が物価高騰に迫りついてい

ない状況、人手不足が深刻化するなど、中小企業の経営環境は厳しさを増しています。また、商店街組織においては、高齢化が進み、デジタル化が遅れている現状は、地域経済の活性化を阻む大きな課題となっています。

大田区商店街連合会では、このような厳しい状況の中、地域経済の活性化に向けて様々な対策を進めてまいりました。具体的には、若手経営者の発掘・育成やネットワーキング、個別商店街だけでなく

駅単位での支援による商店街リソースの集約化、商店街事務作業の標準化・効率化、デジタル化をツール開発や外注化支援等により推進してまいりました。

また、メディア運営にも力を入れ、Webサイト「おーたふる」やInstagram、X（旧Twitter）、facebookで商店街イベントやグルメ、おでかけ情報の発信をしています。こちらについては、普段目に見られている方もいらっしゃるかもしれません。

さて、2025年は「乙巳（きのとみ）」の年であり、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持ちます。この年に向けて、大田区商店街連合会はこれまで推進してきた事業を継続し、事務作業の標準化・効率化、デジタル化による商店街組織の基盤強化・安定化、若手人材の活用や公式メディアでの情報発信強化による地域の活性化を推進してまいります。

また、新たな取り組みとして、古着回収や

教育機関との連携、商店街装飾灯のLED化等のSDGsの目標達成に向けた取り組みや、羽田空港や区内宿泊施設を起点としてインパウンドの取り込み強化、地域イベントの活性化等にも貢献してまいりたいと考えています。

本年も、大田工業連合会の皆様とともに、困難を乗り越え、更なる発展を目指してまいります。何卒、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

専門的なセミナーを多数実施しています（年間500コースほど実施）

生産設備のムダ取り改善とからくり

5軸制御マシニングセンタによる加工

マグネシウム合金のTIG溶接技能クリニック

機械自主保全（締結、Vベルト・チェーン編）

など

高度ポリテクセンター  
公式Webサイトは  
こちらから！

学びたい方は、高度ポリテクセンターへ！



高度ポリテク 検索

<https://www.apc.jeed.go.jp>



スマホなら  
アクセス  
かんたん！

高度ポリテクセンター  
ハロートレーニング

—— 急がば学べ ——



# 工場と職人と子供たちの笑顔 おおたオープンファクトリー2024開催



心臓の機能を体験できるポンプを握って笑顔 @ 安久工機



自分で印刷した布とハイ！ポーズ @ ウェディア

「おいでよ。未来の職人たち。大田区の企業が、工場や社内展示施設を一般公開し、経営者や職人と交流できるイベント「おおたオープンファクトリー2024」が、2024年11月30日に開かれた。主催は工和会協同組合、(一社)大田観光協会、東京都立大学、横浜国立大学、(一社)おおたクリエティブタウンセンター、(一社)大田工業連合会で構成する「おおたオープンファクトリー実行委員会」。後援は大田区、(公財)大田区産業振興協会、東京商工会議所大田支部、野村不動産パートナーズ。

東急電鉄多摩川線下丸子駅の近くにある工和会館でオープニングセレモニーを開催した。当会の広瀬安宏会長は「天気にも恵まれ、14回目の開催を迎えることができた。工場を訪ねた参加者に大田区の魅力を知ってもらい、見学後は笑顔で帰れるイベントにしたい。ご協力をお願いします」と挨拶。事務局を務める大田観光協会の田中常雅会長(醍醐建設(株)社長)は「スペシャルイベントとして大田区の町工場の写真展も開催

する。30年前に大田区の町工場を撮影してくれた写真家のSAP CHANOさんが、再び大田区の町工場取材。町工場の姿を30年の時間を超えて対比できることは非常に珍しくありがたい機会だ」と述べた。来賓である鈴木晶雅大田区長は「親子連れのお客様も多く訪れている。大田区の製造業の魅力を発信し、子供たちが『ここで働きたい』と思うイベントになってほしい」と挨拶した。

イベントは大きく3つのエリアに分かれて開催された。東急電鉄多摩川線下丸子駅から矢口渡駅の周辺である「新田丸・蒲田エリア」、京浜急行電鉄本線梅屋敷駅から六郷土手駅周辺の「京急本線エリア」、京急空港線糀谷駅から穴守稲荷駅周辺の「京急空港線エリア」だ。温暖で秋晴れだったこともあり、どのエリアも大勢の参加者で賑わった。



広瀬安宏会長



鈴木晶雅区長

(有)安久工機は、看板技術である人工心臓にまつわる展示を中心に据えた。人工心臓の研究開発に関する歴史を紹介するパネルのほか、同社が撮影に協力した映画「ディア・ファミリー」のポスター、ある人工心臓のモデルを展示した。特に、心臓の機能を表現するための、ポンプを押すと装置内で水が噴出する装置は、子供たちに大人気。多くの子供が笑顔でポンプを握っていた。

そのほか最新の3Dプリンターや千葉県ベンチャーに開発協力した家庭用サウナなどユニークな製品も多数展示した。同社のオリジナルTシャツや社名にかけた「ヤスヒサコーヒー」などユニークな物販も実施。会場には家族連れがひっきりなしに訪れていた。

インターネットオーダーでオリジナルTシャツを製作する(有)ウェディアは、シルクスクリーン印刷体験を実施した。印刷機に型と布を取り付け、べつとりとインクを塗りつけていく。大人の男性でも結構力がいいる作業だ。その後、布を乾燥機にかけると、OTAオープンファクトリーのロゴが綺麗に印刷できた。会場内外には同社が手がけてきたTシャツが展示。ミュージシャンのTシャツを多く手がけていることもあり、来場者の注目を集めていた。

(有)小堀精密は工場を公開し、マシニングセンタによる金属の切削加工をデモンストレーションした。来場者が自分で工作機械のスイッチを押すと、切削液にまみれながら加工が進む。その様子を興味深く観察していた。8年ぶり2度目となるおおたオープンファクトリーへの参加について小堀裕史社長は「地域の人々に当社を知っていただくとともに、地域の企業との交流になる」と意義を語った。

工場の外では、切削加工で作ったメモスタンドなど金属製のオブジェを販売。スクラップ材を組み合わせたラジコンカー「オシャCAR」は、子供たちに特に好評だった。

このほか、「京急本線エリア」では(株)トップウォーターシステムズが産業用純水装置の見学を、「京急空港線エリア」では(株)LEAF FACTORY TOKYOが、完全人工光型植物工場の見学と同工場で作ったレタスの試食を行った。



がんばってオシャ CAR を操縦 @ 小堀精密



小型マシニングセンタの加工を見つめる子供 @ 小堀精密





# 明けましておめでとうございます

## 一般社団法人 大田工業連合会有志

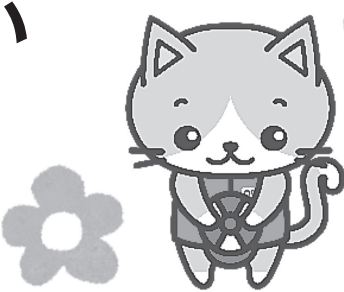
（五十音順）



<b>有坂弁栓工業株式会社</b> 代表取締役社長 有坂知則 〒144-0056 大田区西六郷4-7-7 TEL 03-3732-8825 FAX 03-3732-8826	『ボールねじ製造・販売』『精密加工』 <b>株式会社 伊和起ゲージ</b> 代表取締役 広瀬安宏 〒146-0083 東京都大田区千鳥2-28-18 TEL 03-3758-1721 FAX 03-3759-1691 E-mail info@iwaki-gauge.co.jp URL https://www.iwaki-gauge.co.jp	金属上の精密めっき <b>株式会社 池田車框製作所</b> 代表取締役 池田絵理子 〒143-0003 大田区京浜島2-2-5 TEL 03-3790-2222 FAX 03-3799-3399	オーダー金物（装飾・サイン・什器） <b>ウヌマ株式会社</b> 代表取締役 鶴沼昌英 〒144-0032 大田区北糀谷1-2-7 TEL 03-3745-3939 FAX 03-3742-4101
めっきメーカーからサーフェスクリエーターへ <b>EBINAX 株式会社</b> 代表取締役社長 海老名伸哉 〒144-0033 大田区東糀谷5-22-13 TEL 03-3742-0107 FAX 03-3745-5476 E-mail ebina-s@ebinax.com URL http://www.ebinax.com	3D測定・3D設計・3Dプリント RoHS等 有害物質測定 金属組成分析 リパースエンジニアリングサポート <b>栄商金属株式会社</b> 代表取締役 佐山行宏 大田区下丸子1-17-18 栄商ものづくりLAB 2F TEL 03-3759-1207 FAX 03-3759-1255 URL http://www.eisyo.co.jp E-mail info@eisyo.co.jp	構築と革新、更なる挑戦 オオ サキ <b>大肯精密株式会社</b> 代表取締役社長 大崎和夫 〒146-0081 大田区仲池上 2-19-6 ☎ 03-3755-3311 Fax 03-3755-1918 URL http://www.osaki-precision.co.jp	<b>岡田钣金株式会社</b> 相談役 増田道造 本 社 東京都大田区新蒲田1-22-18 〒144-0054 TEL 03-3734-7101 茨城工場 茨城県小美玉市三箇207-1 〒319-0104 TEL 0299-48-2901
精密板金のあらゆるニーズにお応えする 電子機器の新製品開発から量産まで <b>株式会社 金森製作所</b> 代表取締役会長 金森 茂 代表取締役社長 金森忠明 〒143-0013 大田区大森南2-8-16 TEL 03-3741-3231 FAX 03-3741-3279 E-mail km-info@kanamori-gr.co.jp URL http://www.kanamori-gr.co.jp	<b>株式会社 川辺製作所</b> 代表取締役 大良真一 〒146-0093 大田区矢口1-20-19 TEL 03-3757-1731 FAX 03-3756-2115	<b>桂川電機株式会社</b> 代表取締役社長 渡邊正禮 〒146-8585 大田区下丸子4-21-1 TEL 03-3758-2222 FAX 03-3757-3451 E-mail kta-hisho@kiphq.co.jp	日本工業規格表示認証工場 Nadcap認証工場 JIS Q 9100/JIS Q 9001 ISO 14001認証工場 カミジマ <b>株式会社 上島熱処理工業所</b> 代表取締役社長 上島 健 〒146-0081 大田区仲池上2-23-13 TEL 03-3753-7788(代) FAX 03-3751-5684 E-mail info@kamijima.co.jp URL http://www.kamijima.co.jp/
<b>株式会社 カワイ化工</b> 代表取締役社長 川合 彰 〒143-0003 大田区京浜島2-3-2 TEL 03-3790-8121 FAX 03-3790-8128	<b>株式会社 かんぽ生命保険</b> 南東京法人支店 支店長 生田竜志 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-29 ガーデンシティ品川御殿山2階 ☎TEL: 03-5422-7654 FAX: 03-5422-8329	ヘラ絞り <b>株式会社 北嶋絞製作所</b> 代表取締役 富永 聡 〒143-0003 大田区京浜島2-3-10 TEL 03-3790-2300 FAX 03-3790-3044 E-mail info@kitajimashibori.co.jp URL http://www.kitajimashibori.co.jp	Shinkumi Bank 信用組合 あなたの街のパートナー しんくみ <b>共立信用組合</b> 理事長 鈴木孝一 〒143-0015 大田区大森西1-7-2 TEL 03-3762-7777 FAX 03-3761-4515 URL http://www.kyouritsu.shinkumi.co.jp/
<b>株式会社 倉本計器精工所</b> 代表取締役 倉本一宏 〒146-0095 大田区多摩川2-5-13 TEL 03-3759-0311 FAX 03-3758-0311	ものづくりERP生産管理システム777 <b>ケンユウテクノ株式会社</b> 代表取締役 山口謙治 URL http://www.kenyou.co.jp/ 〒146-0094 大田区東矢口3-8-2 TEL 03-5713-1511 FAX 03-5713-1512	「アルミの溶接お任せください」 <b>株式会社 小池製作所</b> 代表取締役社長 小池雄太 〒144-0056 大田区西六郷 4-12-9 TEL 03-3731-9953 FAX 03-3735-1890 URL https://koikeseisakusyo.co.jp	スピнкаシメ機の開発・製造・販売 <b>株式会社弘機商会</b> 代表取締役 高原隆一 〒144-0052 大田区蒲田1-24-6 TEL 03-3732-5461 FAX 03-3732-5464 URL https://kokiriveting.com
<b>小松ばね工業株式会社</b> 代表取締役 小松万希子 〒143-0013 大田区大森南5-3-18 TEL 03-3743-0231 FAX 03-3743-0235 E-mail soumubu@komatsubane.com URL http://www.komatsubane.com	製缶・溶接・研磨・電解研磨 <b>株式会社 酒井ステンレス</b> 代表取締役 酒井壽俊 大田区京浜島2-21-1 TEL 03-3790-0333(代) FAX 03-3790-0335 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字上狐山20-1 TEL 0248-53-3848 FAX 0248-53-3887 URL http://www.sakai-st.co.jp	産業用LED照明器具製造販売 <b>嵯峨電機工業株式会社</b> 代表取締役社長 尾曾秀幸 〒145-0076 大田区田園調布南10-5 TEL 03-3759-8261 FAX 03-3756-2131 URL http://www.sagaden.co.jp	夢と未来のサポーター <b>さわやか信用金庫</b> まごろん まめたん 〈本部〉 〒144-0047 大田区萩中2-2-1 TEL 03-3742-0615


# その仕事、シルバーにお任せください

◆事務（データ入力、経理、受付、電話対応、書類のファイリングなど）  
◆製品梱包、組立、検査、発送 ◆社員食堂での調理補助 など  
※短期の仕事についてもお気軽にお問合せください

センター PR キャラクター「シルにゃん」


猫の手も借りたい  
そんな時は  
ご相談ください！

ご注文・お問い合わせは電話かホームページから

 **0120-200-027** 公益社団法人 **大田区シルバー人材センター**  
受付 / 8:30 ~ 17:15（土日・祝祭日・年末年始を除く）

大田区シルバー人材センター

検索

<https://www.ota-sjc.or.jp/>

広告掲載の募集！

こちらの広告を掲載頂ける企業様を募集しております。

広告掲載料

・A3用紙大に(縦6cm×横4cm)サイズで掲載の場合1回3,500円～

※金額はサイズにより異なりますのでお問合せください。

お申込・問合せ先

大田工業連合会 TEL03-3737-0797

お客様応援企業をめざす

**城南信用金庫**

  
Cinnamoroll

©2025 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO.L654642

物流をトータルサポート  
(物流代行・EC支援・トランクルーム・販売代行)

**醍醐倉庫株式会社**

代表取締役社長 醍醐正明

〒146-0081 大田区仲池上1-30-3  
TEL 03-3752-8888 FAX 03-3574-4633

 **アスカラ**   
ASUKARA

**株式会社 昭和製作所**

取締役会長 舟久保利明  
代表取締役社長 舟久保利和

〒143-0015 大田区大森西2-17-8  
TEL 03-3764-1621 FAX 03-3764-1626  
E-mail showa@showa-ss.jp  
URL https://showa-ss.jp

**株式会社 整電社**

代表取締役 鈴木さと美  
代表取締役 長瀬 光徳

〒144-0056 大田区西六郷1-12-1  
TEL 03-3733-9611 FAX 03-3733-9614  
URL https://seiden-sha.co.jp

切削工具メーカー

**大洋ツール 株式会社**

代表取締役社長 高萩俊夫

〒146-0081 大田区仲池上1-26-13  
TEL 03-3752-3221 FAX 03-3755-0703  
E-mail taiyo@taiyo-tool.co.jp  
URL http://www.taiyo-tool.co.jp/

世界一の自動車部品メーカー BOSCH  
国内販売代理店

バッテリー・ワイパー・各種テスター

**高輪ヂーゼル株式会社**

〒144-0044 大田区本羽田2-4-12  
TEL 03-6423-6240 FAX 03-6423-6241  
URL http://www.takanawad.co.jp/

「スピードと品質の金型・設計・製作会社」

**株式会社タムラエジア**

代表取締役 田村波音

〒144-0033 大田区東糀谷6-4-17  
OTAテクノCORE101  
TEL 03-5735-3501 FAX 03-5735-3502  
URL http://www.tamuraejer.com  
E-mail info@tamuraejer.com

時代とともに歩み、心から喜んでいただける製品を提供します

**ティヴィバルブ株式会社**  
(食品、ケミカル、ニューエネルギー関連分野のバルブ製作)

代表取締役 竹内康晴

〒143-0012 大田区大森東4-33-8  
TEL 03-3763-4311 FAX 03-3763-4317  
URL http://www.tv-valve.co.jp  
E-mail info@tv-valve.com

省資源・環境保全時代に貢献する「溶射技術」

**東京メタリコン株式会社**

代表取締役 関 直孝

〒143-0003 大田区京浜島2-18-13  
TEL 03-3790-0201 FAX 03-3790-4359  
E-mail seki-naotaka@tokyometallikon.co.jp  
URL http://www.tokyometallikon.co.jp

油圧配管継手の専門メーカー

**トキワ精機株式会社**

代表取締役 木村洋一

〒143-0012 東京都大田区大森東2-14-12  
TEL 03-3762-5511 FAX 03-3763-9144

配電制御システムのエキスパート

**日本電機株式会社**

代表取締役社長 倉持康壽

〒146-0093 大田区矢口3-2-1  
TEL 03-3758-1121 FAX 03-3759-6485  
E-mail ndctyo@n-denki.co.jp  
URL http://www.n-denki.co.jp

**有限会社 早崎製作所**

代表取締役 早崎吉春

〒143-0013 大田区大森南5-3-16  
TEL 03-3744-0971 FAX 03-3744-0972

パイプ曲げ加工は、お任せください！！

**株式会社 平川製作所**

代表取締役 柳沢重幸

〒143-0015 大田区大森西2-17-14  
TEL 03-3764-1388 FAX 03-3768-1939  
E-mail s-yanagi@hirakawa-ss.co.jp  
URL http://www.hirakawa-ss.co.jp/

マシニング加工(アルミ、銅)

**有限会社 平林製作所**

代表取締役社長 平林孝博

〒143-0012 大田区大森東2-26-25  
TEL 03-3761-1150 FAX 03-3761-1029

精密板金加工・レーザー溶接

**株式会社 福井製作所**

代表取締役 福井 晃  
代表取締役 福井賢治

〒140-0013 品川区南大井5-20-5  
TEL 03-3761-3121(代) FAX 03-3761-3122  
URL http://www.fukui-ss.co.jp

**有限会社 富士精機製作所**

代表取締役 荻野 拓昭

〒143-0013 大田区大森南3-10-6  
TEL 03-3744-4811 FAX 03-3744-4813  
E-mail fujiseiki-ogi@coda.ocn.ne.jp  
URL http://www.fujiseiki-tokyo.com

**富士ダイス株式会社**

代表取締役社長 春田善和

〒146-0092 大田区下丸子2-17-10  
TEL 03-3759-7181 FAX 03-3756-0290

成形～めっきまでプラスチック一貫生産

**平和工業株式会社**

代表取締役 内藤喜達

〒143-0003 大田区京浜島2-2-4  
TEL 03-3790-1031 FAX 03-3790-2828  
E-mail info@heiwakogyo.com  
URL http://www.heiwakogyo.com

精密送りねじ・超精密スピンドル加工

**宮城精工株式会社**

代表取締役 菊地勝昭

〒146-0083 大田区千鳥2-26-7  
TEL 03-3750-8875 FAX 03-3750-7286  
E-mail k-kikuchi@miyagi-seiko.co.jp  
URL http://www.miyagi-seiko.co.jp

**MUSO** 試験片・試験治具

**ムソー工業株式会社**

代表取締役 尾針徹治

〒143-0003 大田区京浜島2-13-9  
TEL 03-3790-0666 FAX 03-3790-0668  
E-mail musoindustry@clock.ocn.ne.jp

**Mochizuki Painting Lab.**  
Painting the world happy  
～世の中を幸せ色に塗る～

**有限会社 望月塗工研究所**

代表取締役 望月直人

E-mail : mochizuki7010@amethyst.bforth.com  
〒143-0014 東京都大田区大森中3丁目20番21号  
TEL 03-3761-0404 FAX 03-3761-0417  
URL http://www.mochizuki-tokou.com

工作機械鋳物・金型用鋳物

**森田鑄工株式会社**

代表取締役社長 森田政男

〒143-0003 大田区京浜島2-19-1  
TEL 03-3790-2131 FAX 03-3790-2134  
ISO9001/JISG5502  
URL http://www.ca-morita.co.jp/

ものづくりのコーディネータ

**有限会社 安久工機**

代表取締役社長 田中 隆

〒146-0092 大田区下丸子2-25-4  
TEL 03-3758-3727 FAX 03-3756-1250  
E-mail contact@yasuhisa.co.jp  
URL http://www.yasuhisa.co.jp

**有限会社 山田製作所**  
〔自動制御盤 設計・製作〕

代表取締役 山田 修

〒145-0064 大田区上池台5-34-12  
TEL 03-3729-5191 FAX 03-3726-5460  
E-mail info@yamada-ss.jp  
URL https://www.yamada-ss.jp/

**理化工業株式会社**

代表取締役社長 保知輝英

本社 〒146-8515 大田区久が原5-16-6  
TEL 03-3755-8001 FAX 03-3755-7800

明けましておめでとうございます

一般社団法人 大田工業連合会賛助会員

大東京  
田商工  
支会議  
部所

城南  
信用  
金庫

大商  
森工  
組合  
支中  
店央  
庫金  
庫庫

東さ  
糀わ  
谷やか  
支信用  
店金  
庫庫

下さ  
丸わか  
子信用  
支金  
店庫

さわ  
やか  
信用  
金庫

株  
式  
会  
社  
くら  
しの  
友

蒲き  
田ら  
支ぼ  
店し  
行銀  
行行

共立  
信用  
組合

南かん  
東ん  
京ぽ  
法生  
人命  
支保  
店陰



2024新入社員フォローアップ研修

2年目へ向け抱負「成果出せるチーム力」を



研修風景

大田工業連合会と大田区は11月15日、5月の新入社員セミナーの振り返りとして「2024年度新入社員フォローアップ研修」を開催した。参加者は5月に学んだことや半年間の自身の成長を話し合うなどし、入社2年目に向けて意識を高めた。さらにチーム力やコミュニケーションスキルの強化を図るなど、組織の一員として成果を出すための心構えも身につけた。

会場は大田区産業プラザPiOの6階C会議室。講師は研修事業や人材派遣を手がけるアイング（株）の猪田美奈子氏、佐藤外美子氏が務めた。参加したのは、S・P・E・C（株）、シンレキ工業（株）、千蔵工業（株）、（株）東開製作所、日新電気（株）、（株）松浦製作所の新入社員で合計9人。フォローアップ研修では、まず「入社後半年間」の振り返りから始まった。各自が入社からこれまでの仕事、さらに課題と感じていることなどを率直に語り合った。参加者からは「先輩から仕事を任されるようになった」「できることが増え自己成長を感じることができた」などと前向きな意見が出た。一方で、半年間の「モチベーションの変化」を時系列で追った発表では、意外にも「あつという間に時間が過ぎてしまいモチベーションが下がってしまった」と有り余る時間があつた学生時代とは対照的な社会人の忙しさに戸惑う胸の内も垣間見えた。

入社から半年も経てば様々な業務を経験して慣れ始めるころで、基本だけでなく自分の癖がつき始める時期でもある。そのような時間の経過を意識しながら猪田氏は「失敗しても大丈夫だし慣れれば難しくないこともある。しかし、まもなく2年目になり後輩も入社してくる。ここで学び直すことで後輩に誤ったことを教えないようにしてほしい」と話した。

研修の山場となったのは、コミュニケーションスキルの強化を図るためのパートだ。相手とのコミュニケーションのなかで、言葉や論理で理性に訴えかけるだけでなく、感情をくみ取り相手の心に訴えかける両軸のコミュニケーションの重要性を学んだ。また、話を聞くための傾聴や、会話のための効果的な質問、話す内容の全体像を伝えた上で話の各部分を説明し最後に結論を説明する「ホールパート法」、結論から理由、具体例、結論の組み立てで話す「PREP法」といった話法をロールプレイした。

これらの研修を踏まえたトータルワークでは、学んだばかりのコミュニケーションスキルを、チームワークを通じて実践することになった。「グリーン」と称したコミュニケーション能力を鍛えるカードゲームを行い、メンバーがそれぞれ異なる7枚のカードの内容を他の

メンバーに口頭で伝え合い、その情報をもとに架空のスポーツチーム名と選手・監督の名前を当てるゲームに挑戦した。チーム内でのコミュニケーションを通じて断片的な情報を集約、推理していく。各自がもつ情報を全員が理解して一つの結論に向かつていくわけだが、その過程では、情報の説明や整理、記録の仕方の精度が問われる。指導した猪田氏は「いろいろな情報が飛び交う中、情報の優先順位のつけ方や役割分担の大切さがわかっていく」と解説した。

最後は「2年目の自分」というテーマでの講義が行われた。入社2年目の課題とその解決のために必要な明日からの具体的な行動目標を考え発表した。参加者からは「今よりも知識を身につけ、技術を向上させ、後輩に教ええられる社員を目指したい。そのためには、先輩らの技を見て実践し、資料を自分で調べるなどして知識を身につけたい」と、入社2年目に向けて誓いを新たにされた。

製造業で構成される大田工連はものづくりのプロフェッショナル集団である。だが、顧客の期待を上回る仕事を実現し続けるには社員一人だけでは難しいのも事実。不可能といわれるような目標への挑戦や、立ちちはだかる大きな課題解決に向けて協働し、人数以上のプラサルファの相乗効果を生み出すチーム力が求められる。大田工連の吉崎彰事務局長はフォローアップ研修の最後に「組織はチームであり、1人ではなく助け合うことが大事。1+1が2ではなく、3にも4にもなるのがチームのいいところ。会社に戻ってコミュニケーションを通じて日々を充実させてほしい」と締め括った。

〈喜びの声〉

大田工業連合会前副会長、秋山隆彦氏



大田工業連合会前副会長であり、東京都京浜島工業団地協同組合連合会前会長である協和工業（株）会長の秋山隆彦氏が、2024年秋の叙勲で旭日単光章を受章されました。喜びの声を届けます。

このたびは叙勲の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。これもひとえにこれまでお力添えをいただいた皆様の温かいご指導、ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

私は1985年から2019年まで協和工業（株）の社長を務めて参りました。事務機メーカーを主な顧客に持ち、医療や燃料電池、宇宙関係などの分野にも取引先を増やしています。2009年には経済産業省の「元気なモノ作り中小企業300社」に選ばれました。経営者として夢を語り、社員と未来を共有できたことが、今回の受章に繋がったと考えております。

今後この栄誉を励みとし、微力ながら大田区、そして日本のものでぐくり貢献して参る所存です。一層のご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

HACCPを導入した最新設備の工場から  
今日も満足していただけるメニューをお届けします。

- ◎職場弁当・各種行事弁当  
◎幼稚園弁当
- ◎学校給食の受託、運営  
◎リユースカップの洗浄業務  
◎ご注文に応じて対応いたします。

★昭和37年大田工業連合会の有志によって

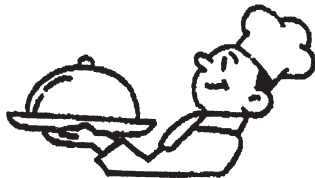
設立された皆様の



です。



のお料理



HACCP認定工場

都南工業給食協同組合

〒144-0045 大田区南六郷3-15-1

TEL 3732-7451 (代表) FAX 3735-8376